

福山港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件: 最高水面(零位)
 隆起量: 平均 -25cm(-38cm ~ -11cm)
 Zo: 2.10m
 備考: 本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものと異なることがある。

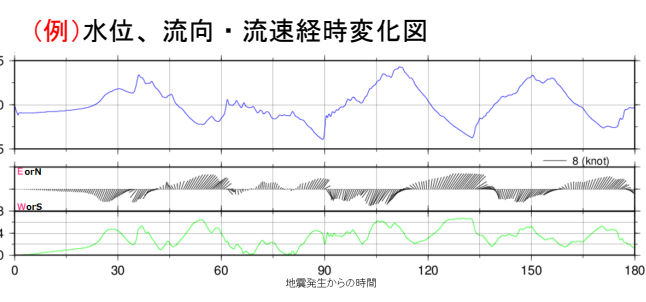


1:35,000

座標系:メルカトル図法
 測地系:世界測地系(WGS84)

凡例

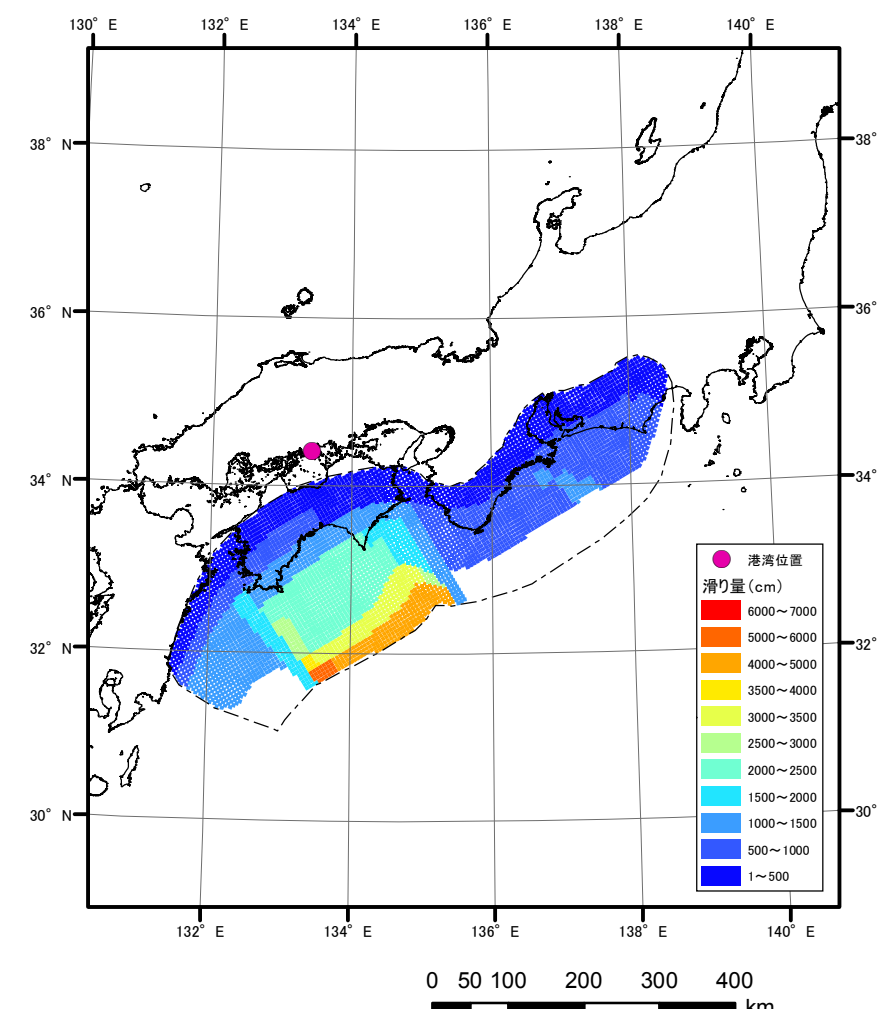
- 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]
- 最大水位上昇
 - 0.5~最大1.7m
 - 0.5未満
- ⑥ 経時変化出力点
 (図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)



- 進入時最大流 [knot]
 - 1.5 knot
 - 1 knot
 - 0.5 knot

- 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点を出している。
- 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断層モデル



ケース④「四国沖に『大すべり域+超大すべり域』」

| | |
|---------------------------|------------------------|
| 断層面積 S (km ²) | 140,000 |
| 地震モーメント Mo (N·m) | 6.4 × 10 ²² |
| 平均すべり量 D (m) | 10.8 |
| モーメントマグニチュード Mw | 9.1 |

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)(平成24年5月29日発表)」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ(標高)・10mメッシュ(標高)、及び数値地図25000(地図画像)(国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)

